

# Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



SSS026-P15

会場:コンベンションホール

時間:5月27日 14:00-16:30

## GreenLand Ice Sheet monitoring Network (GLISN) による氷河地震観測 Observation of glacial earthquakes by GreenLand Ice Sheet monitoring Network (GLISN)

坪井 誠司<sup>1\*</sup>, 金尾政紀<sup>2</sup>, 東野陽子<sup>1</sup>, 姫野哲人<sup>2</sup>, 豊国源知<sup>2</sup>  
Seiji Tsuboi<sup>1\*</sup>, Masaki Kanao<sup>2</sup>, Yoko Tono<sup>1</sup>, Tetsuto Himeno<sup>2</sup>, Genchi Toyokuni<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 海洋研究開発機構, <sup>2</sup> 国立極地研究所

<sup>1</sup>JAMSTEC, <sup>2</sup>NIPR

「グリーンランド氷床の地震モニタリング観測計画 GLISN (The GreenLand Ice Sheet monitoring Network)」は、グリーンランド氷河地震を継続的に観測する目的で、多国間の国際共同により組織されたプロジェクトである。グリーンランド氷床およびその縁辺部では、氷河の流出に伴うと考えられる氷河地震が観測されている。最近の報告では(たとえば Ekstrom, 2006)、21世紀に入り氷河地震の発生頻度が増大したことが示唆されている。GLISN 計画では、その地理的位置から観測が困難であるグリーンランドに国際協力により地震観測点を設置し、既存の地震観測網のデータを FDSN を通じて共有することにより、氷河地震の活動度と発生メカニズムを明らかにすることを目指している。我が国からは、国立極地研究所と独立行政法人海洋研究開発機構の研究者が GLISN 計画へ参画する予定である。グリーンランド氷床の氷河地震活動については、氷河の流動との関連性から近年の気候変動による影響も指摘されており、北極域の雪氷環境に及ぼす温暖化影響について新視点をもたらす可能性がある。発表では、観測計画の概要と氷河地震活動について紹介する。

キーワード: グリーンランド氷床, 氷河地震, 広帯域地震観測, GLISN

Keywords: Greenland ice sheet, glacial earthquake, broadband seismograph, GLISN